

【令和5年度木曽病院薬剤部目標】

- ① 病院機能評価受審への対応
 - マニュアル整備
 - 医療の質改善（疑義照会の共有）
 - ケアプロセス調査に対する準備（病棟と協力してすすめます）
 - プレアボイド報告の推進
 - 副作用報告
- ② 医師の働き方改革への対応
 - タスクシフト／シェアの推進
 - PBPM の推進
 - ・各種プロトコールの導入
- ③ 質の高い薬剤師業務を目指す（認定、専門等の資格取得および更新、学会発表等）
- ④ 小集団活動の推進（1.チームフォーミュラー 2.チーム吸入指導連携 3.チーム医療安全院内研修）→ 3チームともアウトカムを出す
- ⑤ 薬薬連携の推進
 - がん連携充実加算の算定開始
 - 吸入指導連携の運用開始
- ⑥ 病院経営貢献
 - 指導件数・算定について令和4年度実績を上回る＝（目標 3000 件＝250 件/月）
参考：令和4年6月から令和5年2月の実績 244 件/月
 - 診療報酬未算定項目への取組
 - ・がん連携充実加算
 - ・バイオ後続品導入初期加算（外来腫瘍化学療法診察料の加算）
150 点（月1回、3月を限度） 抗がん剤：ハーセプチン、アバスチン、リツキサソ
 - 薬品値引交渉強化＝中間年の薬価改定あり。交渉は厳しいと見込むが値引率スライドを目標とする。
 - 新規発売の後発医薬品に関して切替を速やかに進める
- ⑦ MR の完全アポイント制の導入
- ⑧ 薬剤師の適正配置計画作成
- ⑨ 保険薬局との連携強化
 - 木曽病院薬剤部主催の研修会開催

【中長期目標】

- ① 在宅訪問への薬剤部の関わり

- ② 働く環境の整備（増員、機械化・システム化の推進）
- ③ チーム医療への貢献
- ④ 院内連携
→看護部、医療支援部
- ⑤ 院外連携強化
→保険薬局連携 地域薬剤師会との合同研修会の企画運営
→県立病院連携 医療薬学会医療薬学専門薬剤師連携施設認定を目指す
- ⑥ 薬剤部業務の見える化推進（学会等での業績発信、管理会議での発信）
- ⑦ PBPM タスクシフト/シェア推進

以上の事を進めていくためには、薬剤部メンバーが目標を共有し、情報共有し、ベクトルを合わせる事が重要です。木曽病院薬剤部のチーム力は素晴らしいものがあります。メンバーが「この病院で働きたい！」と思い、生き生きと幸せな気持ちで働くことが、患者さんに伝わります。医療の質、安全の質、経営の質を高めるために薬剤部一丸となって頑張ります。私自身木曽病院薬剤部で働けて幸せです。

（令和5年4月 伊藤陽一）